

農業



平成23年9月号

会誌 No. 1550

目次

巻頭言

不易流行 我が家の農業……………清塚 利夫 3

論壇

再び食の安定供給について……………西藤 久三 4

研究の最前線

農業環境技術研究所の放射能汚染に関する調査・研究の取組…谷山 一郎 6

放射能調査・研究の体制

これまでの放射能調査・研究の概要

チェルノブイリ原発事故と JCO 事故の影響評価

福島第一原発事故前の土壌・作物中の放射性物質濃度モニタリング

福島第一原発事故前の作物・土壌放射能汚染研究

福島第一原発事故後の農環研の対応

福島第一原発事故後に農業上問題となる放射性物質とその分布

農環研における今後の対応

農事功績者座談会

規模拡大による周年雇用型の施設園芸の確立…………… 15

—大規模経営・担い手育成を目指して—

私たちの経営と農業への思い…………… 福田 誠・福田精子 15

現地指導者のコメント……………木佐貫 守 26

質疑・討論…………… 29

表彰農家訪問

自園自製による高品質茶一貫経営の実現……………狩谷 昭男 41
－京都府南山城村に木野正男さんを訪ねて－

農業・農村の現場から

日本産花き輸出促進の取組……………牛久保 茂 52

世界の農業は今

韓国の有機農業の現状……………金 氣興 57
－パルダンセンミョンサリム－

農政情報…………… 63

大日本農会だより…………… 64

ミニ情報「緑茶の購入数量・生産量等の推移」…………… 51

表紙写真説明

収穫（北海道上川郡美瑛町^{びえいちょう}）

北海道上川郡美瑛町は、北海道のほぼ中央にあり、道内第2の都市「旭川市」と映画「北の国から」などで知られる「富良野市」とのほぼ中間に位置している。面積は、東京23区の広さに匹敵し、その70%以上を山林、約15%を畑地が占め、これを中心に「丘のまち」の美しい景観を形成している。美瑛町は、おおむね波状丘陵地に位置し、その丘陵をぬって美瑛川、置杵牛川、宇莫別川、辺別川ほか数条の河川が流れ、その流域が水田となっている。丘陵部には畑が広がり、東部には大雪山系が控えているため、独特の景観を呈している。気象は、内陸的で寒暖の差が著しいが、農耕期（5～9月）の積算温度は2,437℃、降水量は410mmであり、農耕に適した気象条件である。

平成21年の農業生産額は、冷湿害の影響により、水稻、小麦、ばれいしょ、てんさい、小豆などが基幹作物となっており、品質の低下や生産量の減少がみられたことから区域内農業生産実績は、前年度を約11億円下回る98億円となった。

（写真提供：（社）地域環境資源センター・旧農村環境整備センター）